

# 田沢湖再生 クニマス里帰りプロジェクト **START!**

広報せんぼく 2月1日号でお知らせしました、「田沢湖再生クニマス里帰りプロジェクト」について、田沢湖クニマス未来館（仮称）整備事業をはじめ詳しい事業内容をお知らせします。

企画政策課  
☎ 43-1112

- **田沢湖、角館、西木が連携した体験型ツーリズムの推進**  
これまで教育旅行の推進を通じて取り組んできた多種多様な体験メニューに加え、新たに企業や団体等も活用可能な環境学習プログラムを加えるなど、田沢湖、角館、西木それぞれの地域資源を活かした体験メニューの再構築を図ります。
- **田沢湖とその周辺地域の情報交流の推進**  
クニマス未来館、周辺地域の各施設や観光情報について、市や観光連盟

- **田沢湖畔の賑わいづくりの推進**  
《田沢湖歴史案内人の育成》地元住民で構成する「田沢湖歴史案内人」を育成し、田沢湖の歴史や文化について観光客等に紹介・継承する体制を構築します。
- **《EV（電動アシスト）自転車整備》**  
田沢湖の恵まれた自然をゆったりと周遊できる環境を整備するため、田沢湖春山地区に加え、クニマス未来館にEV（電動アシスト）自転車の貸し出しブースを整備します。
- **《公道でのタンDEMツーリングの実施》**  
県内で初めてとなる公道でのタンDEMツーリング（二人乗り自転車）の実施に向けて、必要な規制の特例措置を講じ、新たな周遊環境を整備します。

## プロジェクトスケジュールについて (平成27年度～平成30年度)

総事業費 約4億3,000万円

※財源については国や県の補助金等を活用します。

平成27年度	クニマス未来館実施設計・田沢湖湖底調査事業
平成28年度	クニマス未来館建設工事・モニュメント整備・環境学習プログラム等の作成ほか
平成29年度	クニマス未来館オープン・各種ソフト事業の実施
平成30年度	各種ソフト事業の実施

田沢湖再生クニマス里帰りプロジェクトは秋田県との協働事業で、さらに秋田大学等関係機関と連携して実施します。

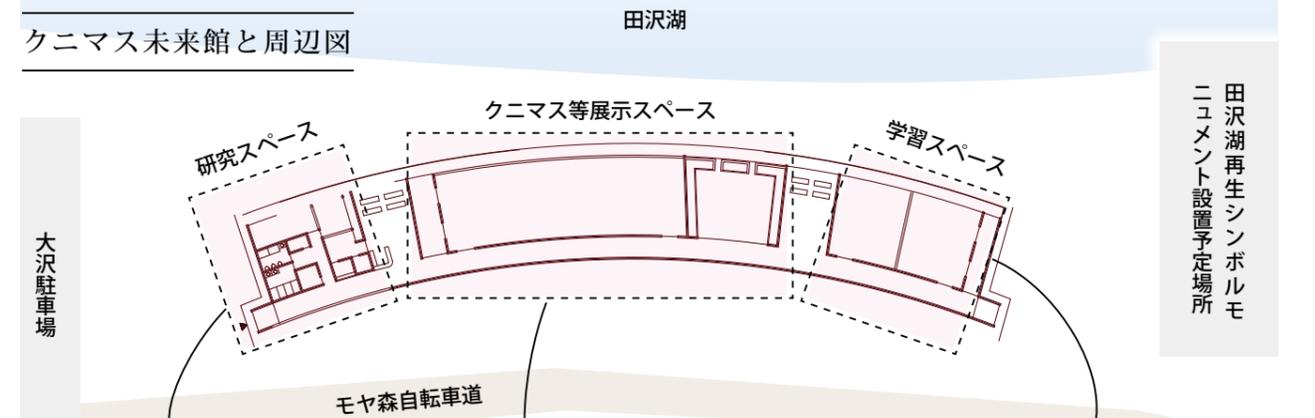
田沢湖湖底調査事業  
秋田県が実施している玉川の酸性水に係る調査に加え、新たに田沢湖の湖底を中心とした調査などを実施し、田沢湖の水質改善に向けた調査や研究を秋田県や秋田大学と連携して進めます。

等が発するブログ、ツイッターなど情報拡散性の高い媒体を通じた情報交流を推進します。

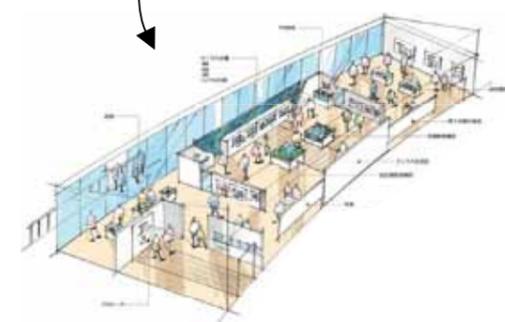


白浜の清掃活動の様子。鳴砂の復活に向けた環境整備の第一歩として、市民などを広く巻き込んだ清掃活動やモニタリング調査などを実施。

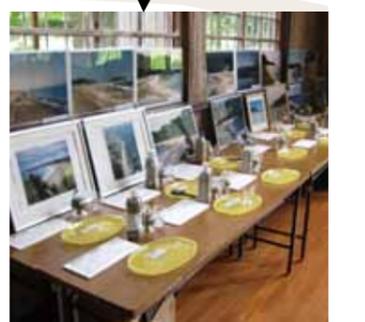
- **田沢湖の再生に向けた環境保全意識等の向上**  
《田沢湖クニマス未来館（仮称）整備事業》田沢湖畔大沢地区に「田沢湖クニマス未来館（仮称）」を整備し、クニマスやかたつて田沢湖に生息していた魚類の生体展示、田沢湖の歴史・文化に関する資料等の展示を行うほか、教育旅行や体験学習などで活用する学習スペースや大学等が活用可能な研究スペースを整備します。
- **《湖畔の再生（鳴砂の復活）に向けた環境整備》**田沢湖白浜の鳴砂の復活を目指し、地域団体、民間企業、有識者、行政等で構成する組織を新たに立ち上げ、今後必要となる取組について関係機関が連携して検討・実施する体制を構築します。
- **《田沢湖再生シンボルモニュメント整備事業》**田沢湖の再生を目指す郷土愛のシンボルとしてクニマス未来館隣に「田沢湖再生シンボルモニュメント」を整備します。



大曲農業高校「農業クラブ」の実験風景。秋田大学や田沢湖再生に取り組む団体等の活動拠点として活用。



クニマスなどの生体展示や田沢湖の歴史・文化に関する資料の展示、田沢湖を眺める展望ホールを計画。※部屋の構造などは今後変更となる場合があります。



展示された鳴砂。教育旅行や体験学習のほか、鳴砂の展示や企画展の開催など多目的に活用。



角館・西木地区も含めた田沢湖周辺の地域資源を活かした体験メニューを再構築（写真は玉川ダム）。



平成25年3月7日 山梨県から田沢湖に到着したクニマス稚魚10尾。



平成26年11月26日 仙北市と秋田大学との連携協定締結式。田沢湖の湖底を中心とした調査・研究を連携して進めます。



クニマス歴史案内人イメージ。クニマス漁など田沢湖の歴史や文化を紹介し、次世代へ継承する体制を構築します。